

映画で考える 戦争と平和 / 第2回

『西部戦線異状なし』授業ガイド

戦争を美化しない目 —— 「言葉の向こうの『現実』を見る。」

教員用・指導資料（対象：高校生以上）

🏠 本資料はAI（Claude / Anthropic）で作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家の監修ではありません。授業での使用可否・場面の選択・学年の適否は、担当の先生が最終判断してください。

1 授業の概要

テーマ	戦争を美化しない目（プロパガンダの言葉と、戦場の現実のずれに気づく）
教材映画	『西部戦線異状なし』（原題 Im Westen nichts Neues／2022年・ドイツ／監督：エドワード・ベルガー／Netflix配信）
対象	高校生以上。戦闘による死傷の描写が非常に生々しく長く続くため、場面の厳選が必須（下記参照）
時間	標準100分（50分×2）。作品は148分。厳選クリップ・あらすじ紹介を基本に
中心概念	プロパガンダ（美しい言葉・見せない現実・周りの空気）／「異状なし」という言葉の皮肉／前線と交渉の場の対比
ねらい	戦争を美化する言葉の特徴を理解し、言葉の裏にある一人ひとりの現実を読み取る視点を持つ
準備物	生徒用ワークシート（別PDF）／特集第1回『1917』のメモ（あれば）／筆記用具

2 内容への配慮（必ずお読みください）

⚠️ 戦闘描写・配信作品の扱い（重要）

本作は、**戦闘による死傷の描写が非常に生々しく、長時間続きます**。原作・映画とも反戦のメッセージを持つ作品ですが、無配慮な全編上映は避けてください。

- 上映は**場面を厳選**する（冒頭の軍服の場面、志願の演説、交渉の場面、終盤の停戦前など）。
- 作品は**Netflixで配信**されています。年齢表示は配信サービス上で必ず確認してください。
- 授業での上映は、**配信サービスの利用規約**や教育機関向けの権利処理を確認のうえ判断してください。
- 「かっこいい戦闘シーン」として消費されないよう、**言葉と現実のずれ**という視点を先に示す。

📄 レイティング・著作権について

- 配信作品のため、年齢表示は視聴時に配信サービス上でご確認ください。
- 授業での上映には教育機関向けの権利処理が必要になる場合があります。本教材の文章はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。

3 原作とプロパガンダ（予備知識）

原作と映画化

原作は、ドイツの作家エーリヒ・マリア・レマルクが自らの従軍体験をもとに書いた1929年の小説で、世界的ベストセラーになりました。のちにナチス政権はこの本を禁じ、焼き捨てています。1930年のアメリカ映画はアカデミー作品賞を受賞。2022年版は、初めてドイツで製作された映画化です。

2022年版の特徴

原作にはない**休戦交渉の場面**が加えられ、前線で戦う若い兵士と、机の上で戦争の終わりを話し合う大人たちが対比されています。原作との違いを扱うと、「映画は作り手の視点で再構成される」ことにも気づけます。

💡 タイトルの意味

「西部戦線異状なし」は、「**特に報告すべきことはない**」という軍の報告の言葉です。組織の報告では「何もない」日にも、一人の兵士の命が失われているかもしれない——タイトルの皮肉を読み解くことが、この回の核になります。

プロパガンダを見抜く4つの視点（板書用）

① 美しい言葉

「英雄」「祖国」「名誉」。感情を強く動かす言葉。

② 見せない現実

けが・死・飢えなど、都合の悪い事実は語られない。

③ 周りの空気

「みんな行く」「行かないのは臆病者」という雰囲気。

④ 報告の言葉

「異状なし」の裏にある、一人ひとりの現実。

🎯 この授業の到達目標

戦争を美化する言葉の特徴を3つ以上挙げ、映画の場面を根拠に「言葉と現実のずれ」を説明できる。

4 100分授業の流れ（50分×2）

時間	ながれ	先生の動き・発問
0-10分	導入	「戦争が始まる時、若者はなぜ進んで志願したのだろうか？」と問いかける。
10-20分	背景	第一次世界大戦・原作と映画化の経緯を説明。特集第1回『1917』（イギリス側）との違いを確認。
20-45分	映画を観る①	冒頭の軍服の場面／教師の演説と志願の場面（クリップ）。
45-50分	1時間目のまとめ	演説の「言葉」を書き出しておく。
50-70分	映画を観る②	塹壕の日常・休戦交渉・停戦前の場面など（厳選クリップ）。
70-88分	ワーク記入	志願の理由と戦場の現実を比べ、プロパガンダの特徴を整理する。
88-100分	共有・まとめ	「異状なし」の皮肉を言葉にする。板書「言葉の向こうの『現実』を見る。」

🌱 まとめ

戦争を始めるとき、人々を動かしてきたのは、しばしば美しい言葉でした。その言葉が「見せていないもの」は何か——そう問う習慣は、100年前の戦争だけでなく、今のニュースやSNSを読むときにも役立ちます。

5 映画の背景知識

原題／邦題	Im Westen nichts Neues／西部戦線異状なし
製作年・国	2022年・ドイツ。148分。Netflixで配信
監督	エドワード・ベルガー（ドイツ出身）
受賞	第95回アカデミー賞 国際長編映画賞・撮影賞・美術賞・作曲賞の4部門
原作	エーリヒ・マリア・レマルクの小説（1929年）。ナチス政権下で禁書・焚書の対象に

主なキャストと役柄

- フェリックス・カマラー（パウル・ボイマー役）：希望に満ちた17歳が、戦場で表情を失っていく姿を演じた。
- アルブレヒト・シュッフ（カット役）：パウルを支える年上の兵士。
- ダニエル・ブリュール（マティアス・エルツベルガー役）：休戦交渉に臨む実在の政治家。

🕯 11月11日の意味

第一次世界大戦の休戦協定は、1918年11月11日の午前11時に発効しました。ヨーロッパなどでは今も、11月11日を戦没者を追悼する日としています。

※上記の事実は公開情報（映画.com、Wikipedia等）をもとにしています。細部・脚色には諸説あるため、授業前に必要に応じてご確認ください。

6 発問例・見取りのポイント

Q. パウルたちが志願した理由は何だった？ 戦場で知った現実と比べると？

→ 演説の言葉（名誉・英雄）と、泥・飢え・死という現実のずれを具体的に比べさせる。

Q. 冒頭の「軍服」の場面は、何を伝えようとしている？

→ 戦死した兵士の軍服が修繕され、次の兵士に配られる。人が「交換可能なもの」として扱われる構造に気づかせる。

Q. 前線の兵士と、交渉の場の大人たち。この対比から何を感じた？

→ 決める人と命を落とす人が別であること、停戦が決まっても戦闘が続いたことに目を向けさせる。

ワークシートの見取り（評価の観点）

- 戦争を美化する言葉の特徴を、具体的な言葉や場面を挙げて説明できているか。
- 「異状なし」という言葉の皮肉を、自分の言葉で説明できているか。
- 現代のニュースや広告などの言葉にも視点を広げられているか。
- 意見の発表は強制せず、書いた内容を尊重する（家族の戦争体験などに触れる生徒への配慮）。

7 シリーズ全体像

回	映画	テーマ	目安
1	1917 命をかけた伝令	一人ひとりの命の重さ	中学生～
2	西部戦線異状なし	戦争を美化しない目	高校生～
3	ダンケルク	生きて帰るという勇気	中学生～
4	シンドラーのリスト	一人の選択が命を救う	高校生～
5	硫黄島からの手紙	敵にも家族がいる	中学生～
6	ガンジー	暴力を使わずに社会を変える	中学生～
7	ブリッジ・オブ・スパイ	対話と交渉で争いを止める	中学生～
8	ホテル・ルワンダ	見捨てない勇気	中学生～

8 参考資料（主な出典）

西部戦線異状なし 作品情報（映画.com） <https://eiga.com/>

Wikipedia「西部戦線異状なし (2022年の映画)」 [https://ja.wikipedia.org/wiki/西部戦線異状なし_\(2022年の映画\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/西部戦線異状なし_(2022年の映画))

作品：映画『西部戦線異状なし』（2022年、監督エドワード・ベルガー）

© 2026 FilmEdu AI ／ 本資料はAIを活用して作成しています。授業でのご利用前に事実関係をご確認ください。専門家による監修ではありません。授業での使用可否・場面選択・学年の適否は担当教員の判断によります。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理（教育機関向けライセンス等）が必要になる場合があります。内容の誤りにお気づきの際はお問い合わせよりご連絡ください。